

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

2025-2026 年度 ガバナーメッセージ「ロータリアンからはじめましょう」

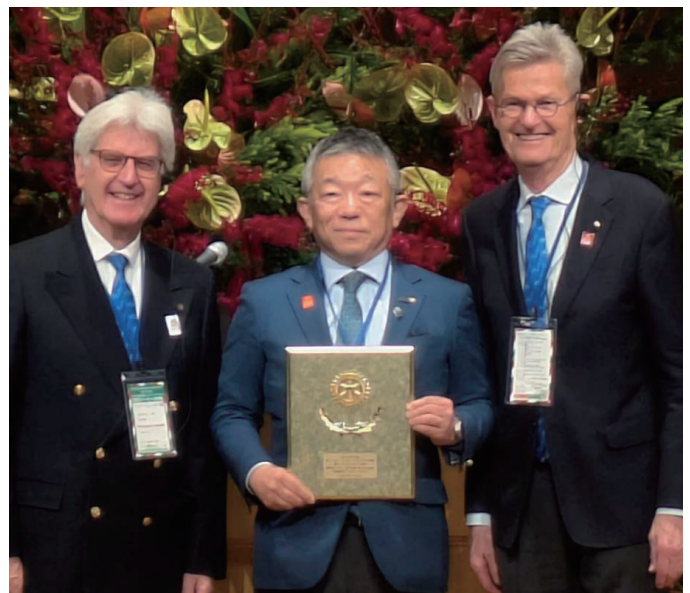
11 月、横浜で開催されたロータリー研究大会に参加し、実り多い 4 日間を過ごしました。フランチェスコ・アレツツォ RI 会長、そしてホルガー・クナーク・ロータリー財団管理委員長とも直接お話しする機会に恵まれ、世界のロータリーがどこを向き、どのような覚悟で前進しているのかを肌で感じる事ができました。私自身も地区を代表して「会社 de ワクチン」事業を発表し、ポリオ根絶が“あと少し”の段階まで来た今こそ、「これでもか、これでもか」と畳みかける姿勢が、会場全体の空気として共有されていたように思います。

また、ロータリー財団の資産に対して、合理的で無理のない支出配分、堅実な運用、更に透明性の高い管理体制について理解を深める事ができました。

寄付が確実に社会のために使われているという信頼を、あらためて実感する場ともなり、「安心して託せる財団」であることを再確認した次第です。

最近、スポーツ界から明るいニュースが届きましたね。今年も MLB でリーグ MVP に輝

国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度ガバナー
稲葉 雅之（伊東西 RC）



いた大谷選手が、新たに「大谷翔平ファミリー財団」を立ち上げるという話題です。選手として成功を収めた結果、職業を通じて世界中の子どもたちに夢を与え、人々の平和に貢献しています。その上で、さらに自らの資産を社会へ還元しようとする姿勢に、深い感動を覚えます。

大谷財団の目的には、「子どもたちが活発で健やかに暮らせるための援助」や「困っている動物の保護を通じ、より健康で幸福なコミュニティをつくること」が掲げられています。成功を“自分のもの”で終わらせず、未来の誰かのために使うという志は、まさにロータリアンが大切にしてきた奉仕の精神そのものですね。

（次ページに続きます）



(前ページより続き)

さて、国際協議会で RI 会長は、ポリオ根絶活動でロータリーとゲイツ財団、ユニセフ等が強固なパートナーシップを築き、大きな成果を生んだことを「成功モデル」として称え、その協働の形を他の分野にも、他のパートナーにも広げていこうと呼びかけました。異なる組織が力を合わせることで、理想的な社会連鎖が生じ、単独では届かない規模のインパクトが生まれます。歩みよりは、ロータリアンからはじめましょう。

いつの日か、ロータリーと大谷財団が、共に手を取りあう未来も決して夢物語ではありません。子どもたちの健やかな成長、地域の幸福、そして平和への願いを共有する者同士として、いつか同じ方向を向きながら活動できる日が来るかも。

12 月は「疾病予防と治療」月間です。ポリオのような長期的な対応から、地域内の予防や治療まで、社会の健康を守るためにロータリアンが行うべき第一歩、それは私たち自身が健康であることです。

第 54 回ロータリー研究会 開催 11 月 18 日～ 20 日

冒頭のカバナー挨拶にもありました通り、2025-26 年度国際ロータリーゾーン I A 2 & 3 「第 54 回ロータリー研究会」は 11 月 18 ～ 20 日まで、横浜市のパシフィコ横浜会議センターおよび横浜ベイホテル東急で開かれ、当地区からは稲葉雅之ガバナーをはじめ 23 名が出席しました。

今回のロータリー研究会では、山梨 RC の柳場文彦直前会長が 11 月 19 日開催の第 1 セッション 第 3 部「行動計画とクラブ活性化～好事例のクラブに学ぶ」で講演を依頼されたほか、伊東西 RC が昨年度第 2 地域で最も Orico Master Card 活用（利用金額）したクラブとして「ロータリーカード・ベストクラブ賞」を受賞し、クラブを代表して稲葉ガバナーが登壇されました。また、稲葉ガバナーは 11 月 20 日、会社 de ワクチン事業の発表を行いました。当地区の活動を、多くの皆様に知っていただく機会に恵まれました。



新 I A C が設立されました

フランチェスコ・アレツツォ RI 会長より、浜松南 RC と浜松開誠館中学・高等学校との国際ロータリーインターアクトクラブ結成認定状が届きました。これから浜松南 RC と浜松開誠館中学・高等学校との新たな活動が展開されますことを、楽しみにしています。



11月11日藤枝RCの冠講座のため、静岡産業大学藤枝キャンパスで講演しました

静岡産業大学では、企業の冠（社名）をつけた講座「冠講座」として企業、団体、行政と連携した人材育成を行っています。県内でも有数の企業が名を連ねる中、藤枝ロータリークラブの事業、産官学連携講座として稲葉ガバナーを招いて講座を開設しました。

テーマは「親睦からの笑顔で奉仕」。我々ロータリアンの活動が学生たちに伝わったものと思います。いつか彼らが社会に出るとき、この話を思い出して、何らかの活動に役立ててほしいと願います。そのときはぜひ、ロータリアンからはじめてほしいものですね。



いよいよ間近！ 地区大会でお会いしましょう！

いよいよ12月6, 7日に2025-26年度地区大会を開催いたします。1日目の会場は伊東市の川奈ホテル、2日目は伊豆市の伊豆ベロドロームとなります。多くの皆さまとともに、さまざまな情報を共有し、親睦を深める充実した2日間となりますよう準備を進めております。

ちなみに、下の写真はエクスカーションでご案内する予定の城ヶ崎海岸、大室山、一碧湖です。地区大会当日の観光は難しいとは思いますが、ぜひ、世界ジオパークにも認定された伊豆の大自然をご堪能いただく機会を作っていただければと思います。

それでは皆さん、お待ちしております！

